

駒ヶ根民報

No.1385
2017,8,27
日本共産党
駒ヶ根市委員会
TEL 83-2969

平成28年度伊南行政組合

一般会計決算と病院事業会計決算

伊南行政組合第3回定例会議

8月21日に伊南行政組合定例議会が開かれ条例の改正2件、一般会計と病院事業会計の決算2件、補正予算2件が提案され審議しました。

一般会計決算

収入では、市町村分担金1億2801万8000円。使用料、手数料は2460万6千円、火葬場使用料944万3千円、衛生センター、15万6千2千円です。財産収入は減、繰越金減、諸収入は、容器包装リサイクル協会有償入札抛出金及び再商品合理化抛出金419万8千円、アルミ缶・スチール缶等資源物の売却収入145万6千円です。
医師確保対策事業は1件の実施があり、基金取崩しにより5百万円の一般会計への繰り入れを行った。
財産に関しては、高規格救急自動車1台は起債の償還完了



し上伊那広域連合へ譲渡した。ゴミ処理広域化に伴い、バックホー1台を上伊那広域連合へ譲渡した。

地方債の現在高

平成28年度においては新たな起債の借入れはなく、年度中の起債償還は5909万3千円で、地方債の現在高は、5億9106万906円。
ゴミ処理施設2件6953万6千円、病院施設1件7032万9千円、消防設備12件4億5119万5千円です。

歳出の合計は、11億61

60万4千円で前年度に比較して9182万8千円の減額です。

火葬場費は3197万1千円で、主な支出は委託料2451万2千円、修繕料631万8千円等です。伊南聖苑の使用件数は723件で前年比78件の増。伊南管内が98件増の698件、管外は20件減の25件です。

老人保健施設費

フラワーハイツ建設償還補助金1568万2千円、観成園敷地料補助金299万6千円、越百園内訪問看護ステーション建設費負担金20万8千円。

衛生センター費

支出総額は、7847万5千円で前年比914万円の減。汚泥・し渣等の運搬処理業務委託1408万円、施設運転業務支援委託1868万4千円など、今後の整備方針検討のコンサル業務委託に194万4千円、処理設備等整備に1152万9千円です。

不燃物処理費

支出総額は、1億189万6千円。不燃物選別・ストックヤード管理等業務委託2430万円、廃プラスチック類等運搬処理業務委託料4001万円、容器包装プラスチック類の処理業務委託料3418万円などが主なものです。

病院費

支出総額は、8億3550万3千円で前年比5582万9千円の減。基準内繰り出し金が前年比9071万4千円の減、医師確保対策費へ500万円の繰り出しが主なものです。

病院事業会計決算

診療体制は、平成28年度末において、前年度末に比べ、内科・小児科で3名増の33名の医師体制になりました。

業務量では、**入院のべ患者数**は前年度比4490人増の7万1861人、1日平均1969人、平均在院日数は18.7日、病床稼働率82.4%で前年比0.2%増となりました。

外来延べ患者数は、前年比2881人増の12万2467人、1日平均504人です。

健診事業(人間ドック等)の延べ利用者数は前年度比346人減の1万336人となりました。

病院事業収支は2億3806万8千円の当期純利益となりました。

企業債未償還残高は15億7234万4691円です。

監査委員の審査意見では

一般会計で、伊南行政組合の事務事業が減少しているの今後、の在り方を早急に検討すべき、蛍光管、乾電池などの処理業務が広域連合に移管になら

ず残っているが広域化するこ
とが望ましい。
病院事業会計では、医師住宅、看護師寮の利用が減少しているの、要不要を含め今後の在り方を検討が必要であると指摘されています。

坂本やすひこ議員は質疑でこのような課題は以前から指摘もあり議会でも論議になっているが今までの経過を質しました。今後議会なども検討を進めていくとの答弁でした。

伊南福祉会決算概要

全員協議会で報告

観成園は、特別擁護老人ホームで、入所110人、短期10人、職員は81人の規模です。長期入所1日平均107.1人稼働率は97.4%、平均介護度は3.6。
フラワーハイツは96人規模で、1日平均利用者は、入所84.2人、短期入所5.6人、通所は平日26.7人、土曜が11.8人です。

順天寮は生活困窮者就労訓練事業所と知事認定され体制を整えている。グループホーム運営を地域にスタートし準備を進めた。

伊南訪問看護ステーション

では医療保険訪問件数は27.2%増と伸び、居宅介護支援は12.6%増、介護予防6.4%増になっている。